

九州支部だより**初の女性研修会を開催**

全国厚板シェアリング工業組合九州支部（支部長・木村昭夫豊鋼材工業社長）はこのほど、福岡市のハイアット・リージェンシー福岡において、「第1回女性研修会」を開催した。

同支部は昨年から、支部活動活性化の一環として、研修活動に力を入れており、今回の取り組みはその第2弾。研修活動は、若手・中堅で立ち上げた運営委員会（委員長・自見修真自見産業社長）が中心となり、これまで幹部・中堅・若手を対象に行ってきたが、今回は女性にターゲットを絞って、初めての試みとして実施した。デスクワーク中心の女性に、相互交流と視野を広げる機会を持ってもらうのが狙い。11社17名の女性と、男性5名（支部長、運営委員会メンバー）を含む総勢22名が参加した研修会は、セミナーと懇親会の2部構成。井上富佐子実行委員長（丸久鋼材執行役員）の司会で始まった。

セミナーでは木村支部長が①全国と九州のシェアリング工業組合の構成、②シェアリングの名前の由来、③溶断ビジネスの諸形態、等をきめ細かく解説したほか、自見運営委員長が海外シェアリング紀行などのプレゼンテーションを行った。

その後の懇親会は、阿部雅子実行副委員長（トキワスチール）の音頭で乾杯。井上実行委員長の軽妙なトークや、参加者全員の自己紹介とショートスピーチで盛り上がり、終始和やかな雰囲気の中かで交流が進んだ。閉会時に、木村支部長が「非常に楽しく有意義なひと時をご一緒できた。女性が活躍の場を広げることは、社会にとっても業界にとっても大変好ましい」と挨拶した際は、女性陣は一斉に直立して「ありがとうございました」と返礼。早速、見事なチームワークを披露した。

（10／29付け鉄鋼新聞より記事全文を転載）